

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

ヒューメインなサービスインダストリーの創出

3. 研究開発課題名

新健康指標 PAMs:アルクダケで健康管理

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

八木 康史(大阪大学 産業科学研究所 理事・副学長)

5. 評価結果

歩行映像から疾患を識別可能な、日常的に使える健康指標の策定を目指す本研究開発は、簡易な診断方法として社会・経済にハイインパクトを与えることが期待され、採択された。

探索研究期間の進捗として、デュアルタスクデータの拡充と軽度認知障害の検知精度向上や、サービス開発会社を組み入れた体制作りで成果を上げた。

しかしながら本評価時点では、歩容データと機械学習のみから“Well-tainment”(= Wellness + Entertainment)を実現するには、まだ検討課題が残されていることから、探索研究で終了という評価となった。

以上